

長友しんじ PRESS



長友しんじ事務所

〒882-0823 宮崎県延岡市中町2-2-20 2階
TEL:0982-21-1118・FAX:0982-20-2012

長友しんじ
公式LINE▼



正念場の3年目 2024年も在野の精神で全力疾走！



政治に対する国民の怒り、失望が止まりません。政治資金パーティーをめぐる裏金の問題は政治不信となり、ますます日本の国力が弱る悪循環を生むのではないかと。そのような危機感で新年を迎えました。昨年12月13日の臨時国会最終日、内閣不信任決議案に全野党が賛成しましたが、自民・公明の反対多数で否決されました。今、国会の衆議院の勢力図は自民261、公明32で与党だけで293議席。一方、野党すべてを足しても171議席にしかありません。今のままでは政府・与党が思い通りに国会を動かせることになり、そこにはおごりや慢心、緊張感の欠如が生まれます。本当の民主主義を機能させるためには、健全な野党の存在が必要不可欠であることを昨年の内閣不信任案否決で思い知りました。

今、国民一人ひとりに内閣不信任案に賛成か反対かを問うたら、間違いなく賛成多数で可決されるでしょう。つまり、国民の想いと国会の意思決定の結果が逆になってしまっていることを、政治家も有権者も重く受け止めなければなりません。私の信念はあくまで在野の精神。大きいものよりも小さいものの側に立つ。強いものよりも弱いものに寄り添う。正直な政治、まっとうな政治を実現すべくこれからもまい進してまいります。

12/11 衆議院事務局長へ

国家基本政策委員会廃止法案を提出

内閣総理大臣と野党の党首が国の基本政策について討論することを扱う国家基本政策委員会。衆議院と参議院にそれぞれ設置され、その合同審査会として党首討論が行われますが、与党と野党第一党の党首が代わってから一度も開かれていません。党首討論は平成の政治制度改革の目玉であったにもかかわらず、ここ数年はまったく委員会が開催されませんでした。それなのに常任委員会であるため12人の国会職員が配置され、委員長には公用車や専用の執務室が与えられ、人件費だけで毎年約3億3,700万円が支出されています。与党、野党第一党ともに行う気配が見られないことから、日本維新の会、有志の会と国家基本政策委員会の廃止法案を共同提出しました。



メタバースで農業会議

MetaVillage
メタバースやってます
仮想空間の長友しんじや
みやざきのこくみんうさぎに
会いに来てください。

メタバースミーティング第9回
2024年 1月17日(水) 20:00
8時だよ! 農業会議 全員集合

◆アプリをインストールしてご参加ください ◆出入りは自由です ◆聞くだけでもOKです

昨年から開催しているメタバースミーティング。「メタバース初め」のテーマは「農業」に決定しました。全国の自治体議員の中には農業にいそしみながら活動している仲間も多く、農政に対する危機感や農業のあるべき姿について地方の声を受け止めます。1月17日(水)午後8時スタートの農業会議に奮ってご参加ください!



スマホに Meta Village のアプリを
ダウンロードしてご参加ください
Android iOS



第212回臨時国会も“皆さんの声を国会へ”

11/8

農林水産委員会

解決に必要なのはゴールの見える化

日本国民に食料を安定的に供給するためには「農業従事者を何人確保することが望ましいのか」。また「農地（耕地）面積はどのくらいあれば政府が目指す食料自給率45%（カロリーベース）を達成することができるのか」を質しました。しかし、政府の答弁としては「算出が難しく、何人ともどのくらいの面積が必要とも言えない」ということでした。農水省はゴールやターゲットが見えないまま政策を打ち出していますが、これでは効果が測れません。課題に対し達成度を見る化できるように取り組みます。



12/5

農林水産委員会

持続可能な酪農へ適正価格の実現を

量販店での牛乳1リットルあたりの平均価格は税込みでも200円前後ですが、メーカーの原料価格は100円を超えています。そこに光熱費、人件費、設備費や物流費などを含めると200円を大幅に超える価格で販売されなければ、持続可能な産業となることはできないとの声が現場から上がっていることを訴え、乳価の適正価格の実現について農水省の見解と方針を質しました。日本の酪農は存続の危機であり、牛乳の適正価格の実現に引き続き尽力します。



12/11

沖縄北方特別委員会

オスプレイ 住民の不安払拭を要請

宮崎の上空でもオスプレイが低空飛行しているという目撃情報が多数あります。熊本県の阿蘇山を周回するイエロールートと呼ばれる低空飛行訓練ルートは宮崎・熊本・大分・福岡の4県にまたがるため、10月上旬に日之影町の中学校の校長先生から「こんなに学校に



近い場所を飛行するのはなぜか。子どもたちに危険が及ばないエリアを飛行してもらうことはできないのか」との要望をいただき、九州防衛局に伝えました。万が一、オスプレイが山間部などに墜落した時の地元住民がとるべき対応の周知を要請し、低空飛行訓練については事前情報提供を行い、住民の不安払拭に努めることも強く申し入れました。

12/12

本会議

反骨を忘れず不信任案賛成討論



松野博一官房長官の不信任決議案が本会議に提出され、賛成の立場で討論に立ちました。松野議員は早稲田大学法学部の先輩にあたり“日本で初めて公募制度から生まれた衆議院議員”です。民間企業から志を持って転身した私利私欲のない政治家だったはずですが、いつの間にか自民党の派閥の中で法令に違反して裏金を作り、不正を行うようになってしまったようです。私たち早稲田の卒業生は権力にくみしない“在野の精神”を誇りに思っています。建学の父・大隈重信も泣いているのではないかと、そのような想いを込めて討論を行いました。そして私自身もあらためて、官や権力に対峙する反骨精神を絶対に忘れないことを胸に刻みました。

国産の遺伝子治療実現にも力を入れていきます

全国パーキンソン病友の会・国民民主党 意見交換会

全国パーキンソン病友の会（患者会）の副会長を務める甲斐敦史さんは、宮崎のパーキンソン病友の会の会長でもあります。甲斐さんとの交流から全国パーキンソン病友の会の皆様と、国民民主党所属議員との意見交換会を昨年11月21日に開催しました。日本の遺伝子治療研究所と自治医大が、パーキンソン病の遺伝子治療の治験を行ってきましたが、遺伝子治療研究所が

資金難に陥り、治験を中断せざるを得なくなりました。その結果、倒産するか、遺伝子治療研究の一部の開発権を販売して生き延びるかを選択しなければならなくなり、アメリカの製薬会社にパーキンソン病の遺伝子治療の開発権を譲ることを条件に資金援助を受けました。そのような状況に対し国の支援をどう取り付けるか、患者会の皆様とタッグを組んで動きます。



▲厚労委所属の田村まみ参院議員と詳しくお聞きしました



(株) 遺伝子治療研究所、全国パーキンソン病友の会、日本難病・疾病団体協議会、ALS 患者会の皆さんがお集まりくださいました